2026年10月2日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク
10,584万kW
11時、105,840 MW（10エリア同時刻合計）

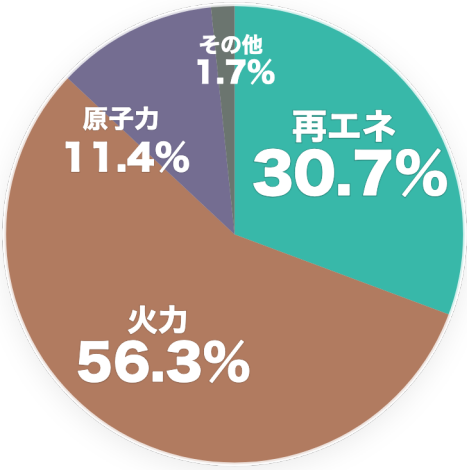
☀ 太陽光ピーク
4,539万kW
12時、45,387 MW（自家消費分除く）

≋ 風力ピーク
346万kW
14時、3,458 MW

◇ 再エネ最大需要比
58.1%
12時30分、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア
東京
113 GWh

↔ 最大送電エリア
東北
102 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 54.8%

43.8 GWh

出力抑制量

6.1 GWh

最大: 東北 4.2 GWh

揚水・蓄電の充電

36.5 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク

- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、16:00に3,278万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで54.8%でした。
- 出力抑制は東北、中部、中国、九州。

項目	値	補足
再エネ発電量比率	**30.7%**	発電電力量ベース
再エネ発電量	**672 GWh**	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力量	**2,190 GWh**	発電構成比の分母
再エネ最大需要比	**58.1%**	12時30分
出力抑制量	**6.1 GWh**	最大: 東北
揚水・蓄電の充電	**36.5 GWh**	発電構成比には含めない

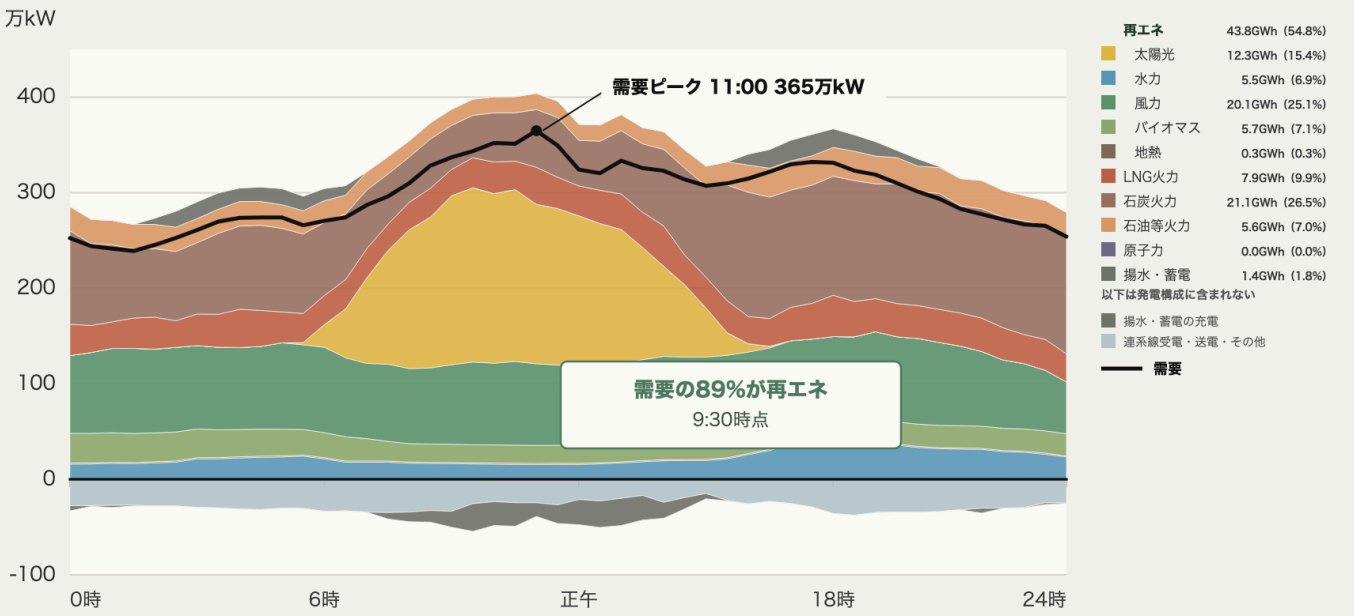
エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・その他 (GWh)
北海道	**54.8%**	**43.8**	**0.0**	**送電 6.8**
東北	**40.8%**	**123**	**4.2**	**送電 102**
東京	**17.5%**	**101**	**0.0**	**受電 113**
中部	**42.7%**	**120**	**0.0**	**受電 73.9**
北陸	**35.4%**	**28.0**	**0.0**	**送電 11.9**
関西	**25.7%**	**82.7**	**0.0**	**受電 32.6**
中国	**27.8%**	**50.4**	**1.7**	**送電 29.7**
四国	**29.4%**	**28.4**	**0.0**	**送電 32.7**
九州	**37.7%**	**93.5**	**0.2**	**送電 14.0**
沖縄	**9.8%**	**2.8**	**0.0**	—

2026年10月2日の供給実績

北海道エリア

再エネ
43.8GWh
（発電電力量ベース54.8%）

北海道エリア 2026年10月2日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
79.9GWh

需要ピーク
11:00、365万kW

連系線・その他
6.8GWhの送電

揚水・蓄電の充電
1.6GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

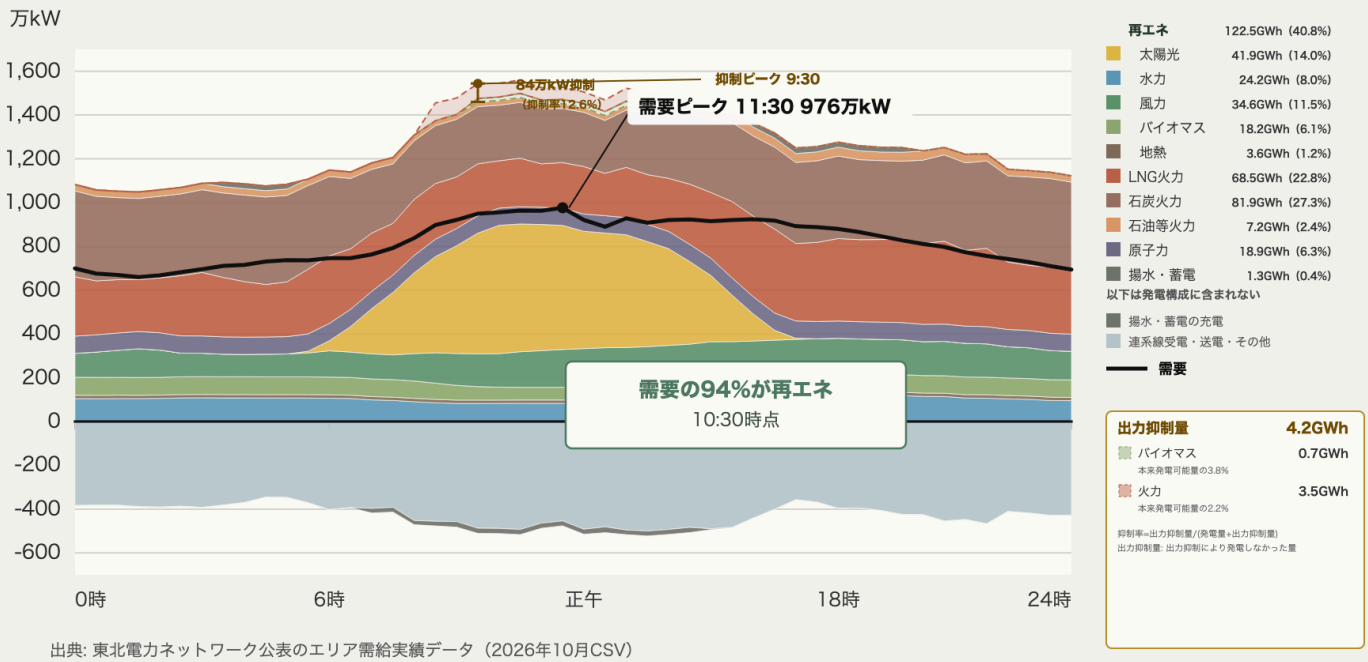
北海道は、太陽光ピーク182万kW、風力ピーク92万kWで、時間別の再エネ最大需要比は88.9%だった。

2026年10月2日の供給実績

東北エリア

再エネ
122.5GWh
（発電電力量ベース40.8%）

東北エリア 2026年10月2日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
300.3GWh

需要ピーク
11:30、976万kW

連系線・その他
102.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電
1.8GWh

出力抑制
4.2GWh

概況

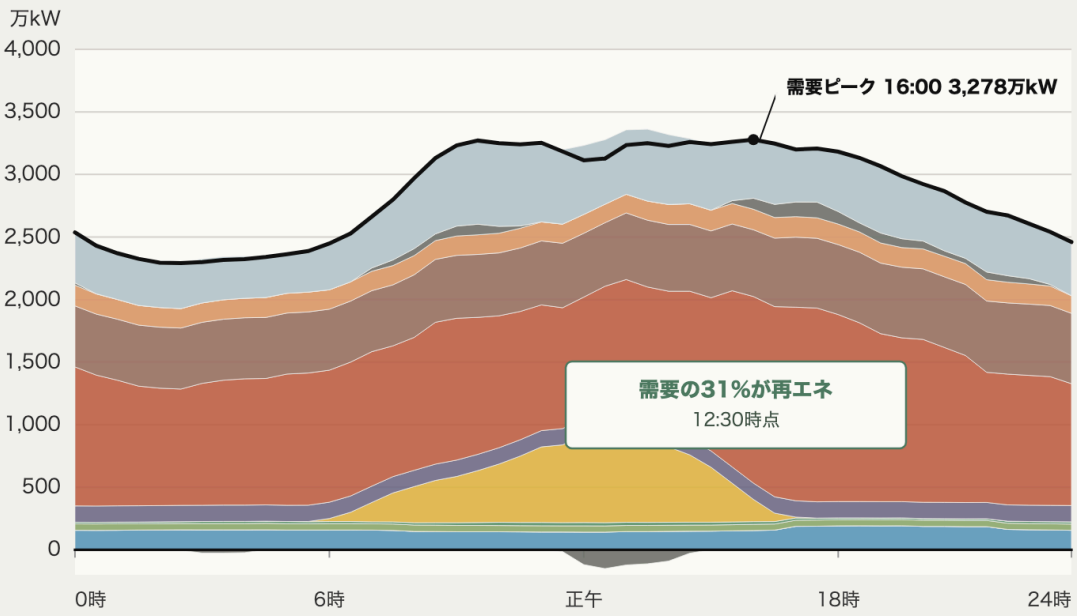
東北は、太陽光ピーク586万kW、風力ピーク180万kWで、時間別の再エネ最大需要比は96.8%だった。

2026年10月2日の供給実績

東京エリア

再エネ
100.7GWh
（発電電力量ベース17.5%）

東京エリア 2026年10月2日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比
総発電電力量: 575GWh
（5,745万kWh）

再エネ	100.7GWh (17.5%)
太陽光	45.8GWh (8.0%)
水力	38.5GWh (6.7%)
風力	4.4GWh (0.8%)
バイオマス	12.0GWh (2.1%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	271.7GWh (47.3%)
石炭火力	125.3GWh (21.8%)
石油等火力	38.0GWh (6.6%)
原子力	31.2GWh (5.4%)
揚水・蓄電	7.7GWh (1.3%)

以下は発電構成に含まれない
揚水・蓄電の充電
連系線受電・送電・その他
需要

出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
574.5GWh

需要ピーク
16:00、3,278万kW

連系線・その他
113.1GWhの受電

揚水・蓄電の充電
3.5GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

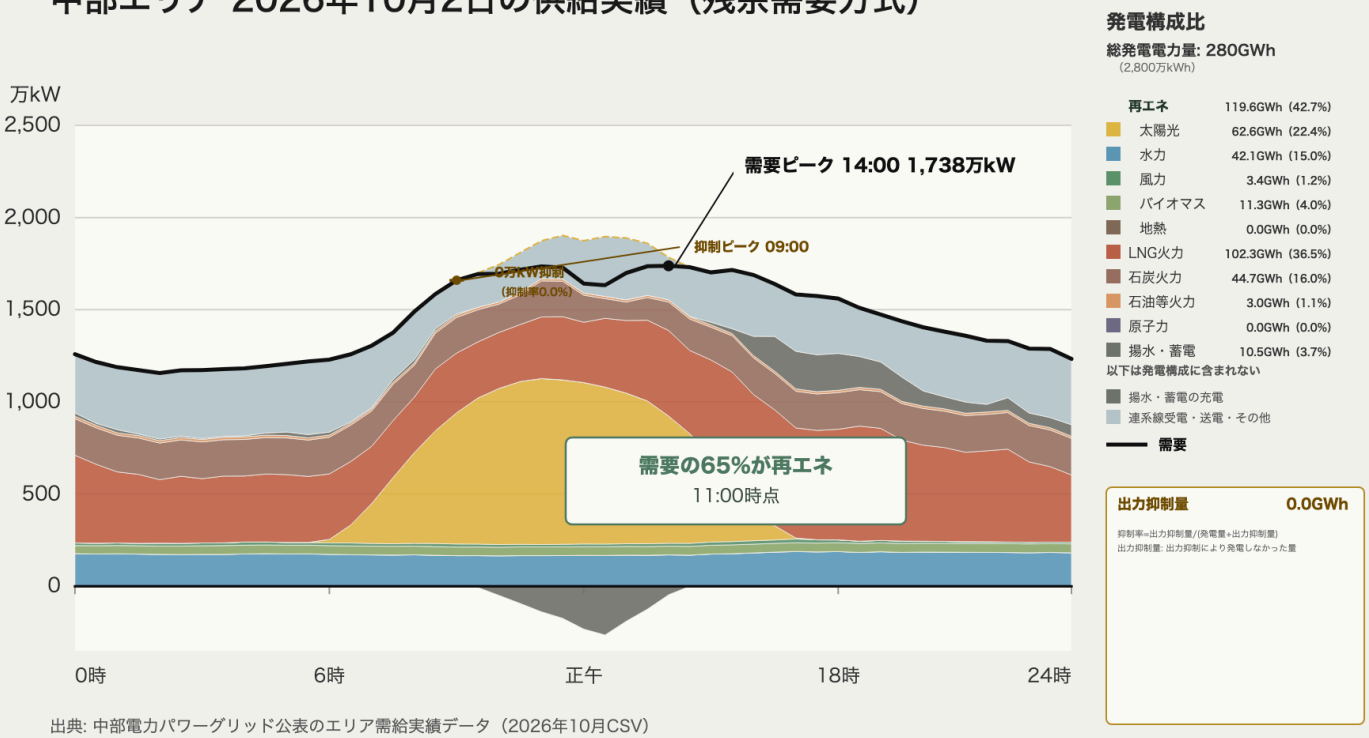
東京は、太陽光ピーク764万kW、風力ピーク27万kWで、時間別の再エネ最大需要比は31.4%だった。

2026年10月2日の供給実績

中部エリア

再エネ
119.6GWh
（発電電力量ベース42.7%）

中部エリア 2026年10月2日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
280.1GWh

需要ピーク
14:00、1,738万kW

連系線・その他
73.9GWhの受電

揚水・蓄電の充電
6.6GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

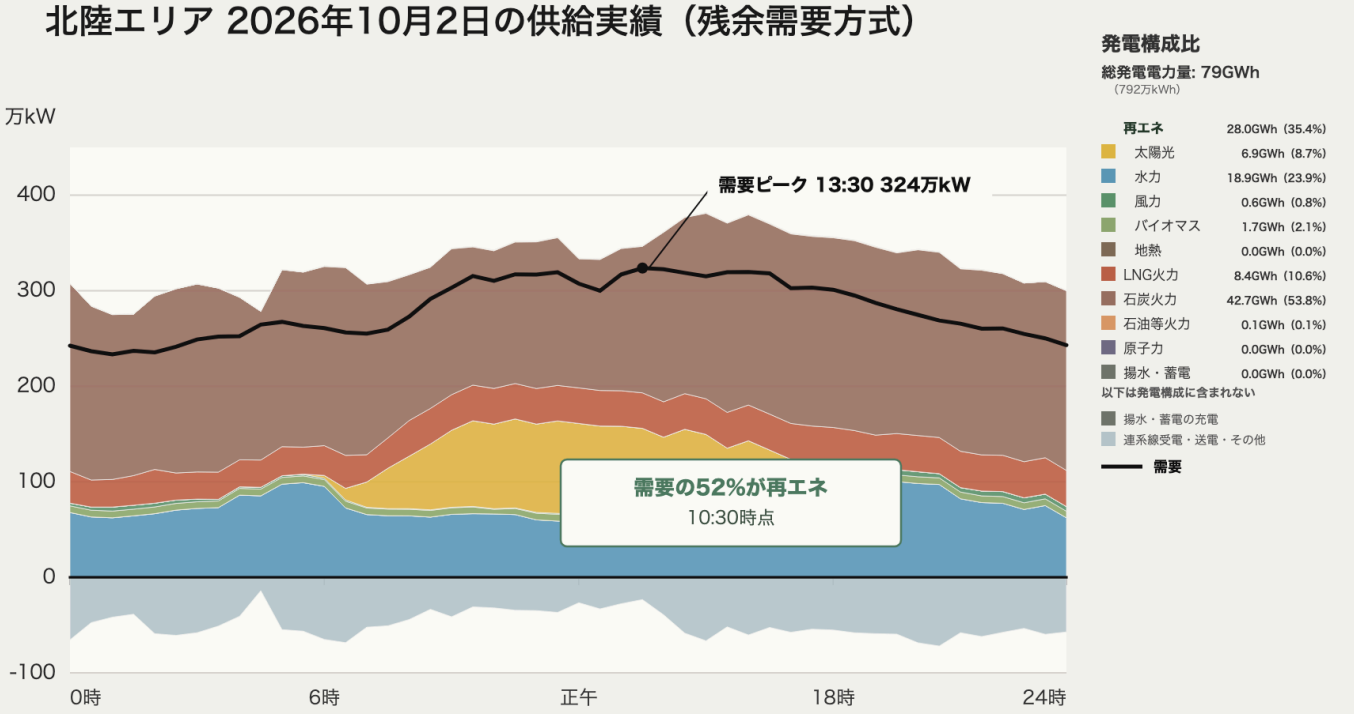
中部は、太陽光ピーク900万kW、風力ピーク20万kWで、時間別の再エネ最大需要比は67.3%だった。

2026年10月2日の供給実績

北陸エリア

再エネ
28.0GWh
（発電電力量ベース35.4%）

北陸エリア 2026年10月2日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
79.2GWh

需要ピーク
13:30、324万kW

連系線・その他
11.9GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

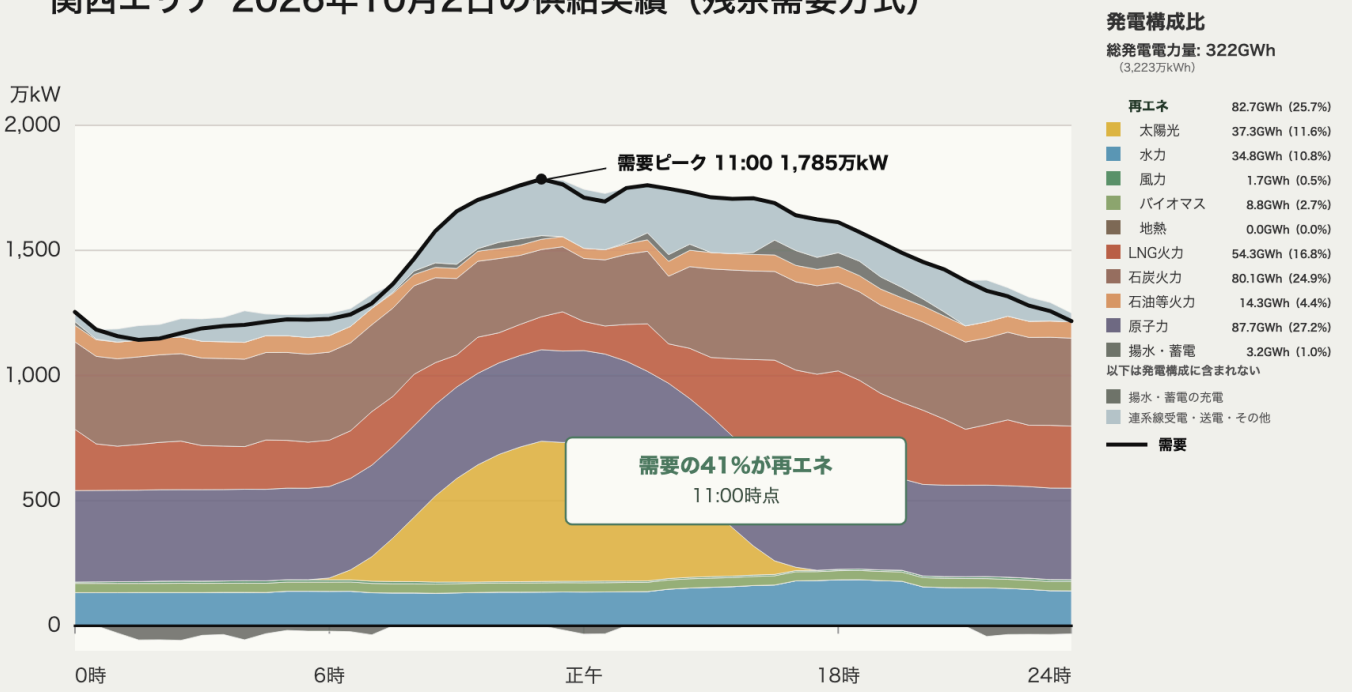
北陸は、太陽光ピーク97万kW、風力ピーク5万kWで、時間別の再エネ最大需要比は52.8%だった。

2026年10月2日の供給実績

関西エリア

再エネ
82.7GWh
（発電電力量ベース25.7%）

関西エリア 2026年10月2日の供給実績（残余需要方式）



出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
322.3GWh

需要ピーク
11:00、1,785万kW

連系線・その他
32.6GWhの受電

揚水・蓄電の充電
3.7GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

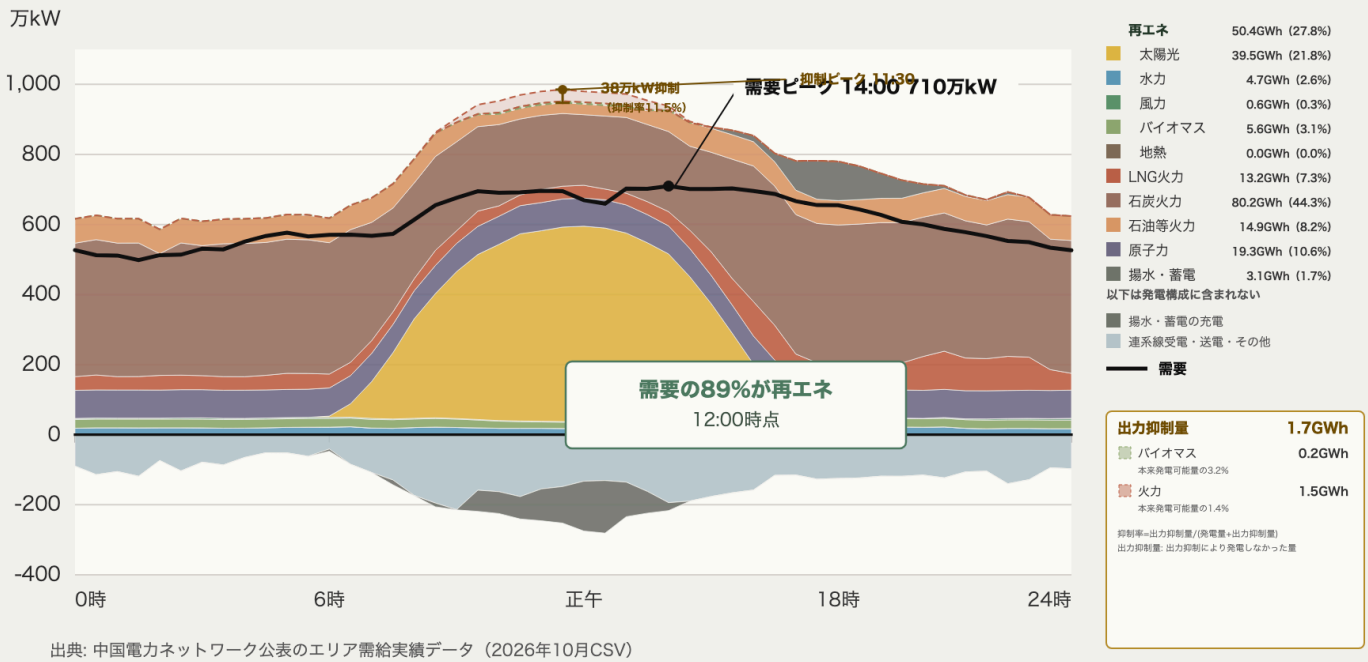
関西は、太陽光ピーク561万kW、風力ピーク10万kWで、時間別の再エネ最大需要比は42.9%だった。

2026年10月2日の供給実績

中国エリア

再エネ
50.4GWh
（発電電力量ベース27.8%）

中国エリア 2026年10月2日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
181.0GWh

需要ピーク
14:00、710万kW

連系線・その他
29.7GWhの送電

揚水・蓄電の充電
4.4GWh

出力抑制
1.7GWh

概況

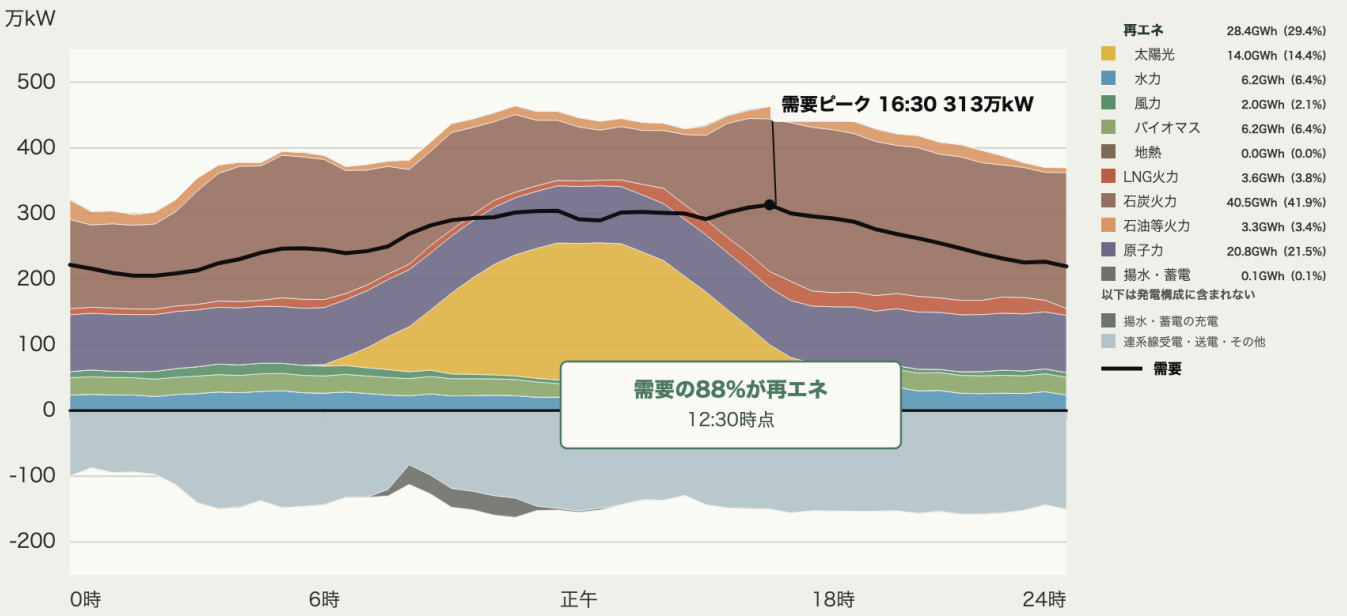
中国は、太陽光ピーク557万kW、風力ピーク5万kWで、時間別の再エネ最大需要比は89.5%だった。

2026年10月2日の供給実績

四国エリア

再エネ
28.4GWh
（発電電力量ベース29.4%）

四国エリア 2026年10月2日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
96.8GWh

需要ピーク
16:30、313万kW

連系線・その他
32.7GWhの送電

揚水・蓄電の充電
1.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

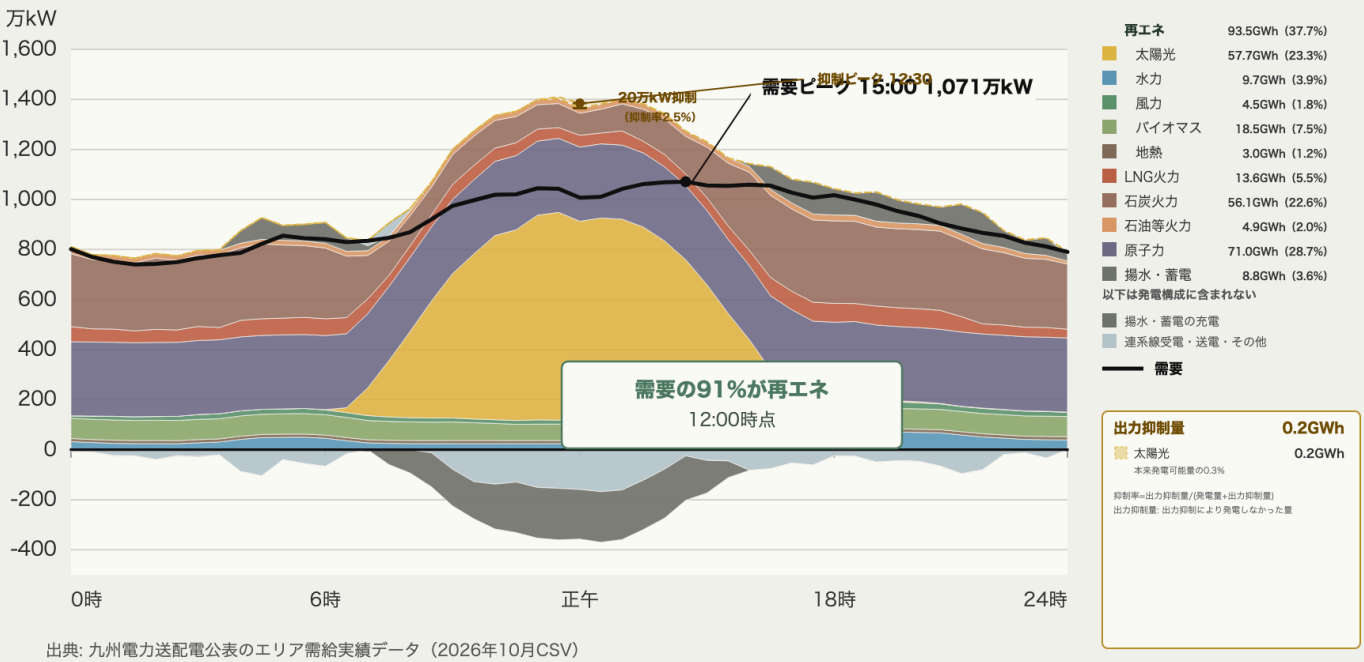
四国は、太陽光ピーク213万kW、風力ピーク16万kWで、時間別の再エネ最大需要比は88.3%だった。

2026年10月2日の供給実績

九州エリア

再エネ
93.5GWh
（発電電力量ベース37.7%）

九州エリア 2026年10月2日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
247.9GWh

需要ピーク
15:00、1,071万kW

連系線・その他
14.5GWhの送電

揚水・蓄電の充電
13.7GWh

出力抑制
0.2GWh

概況

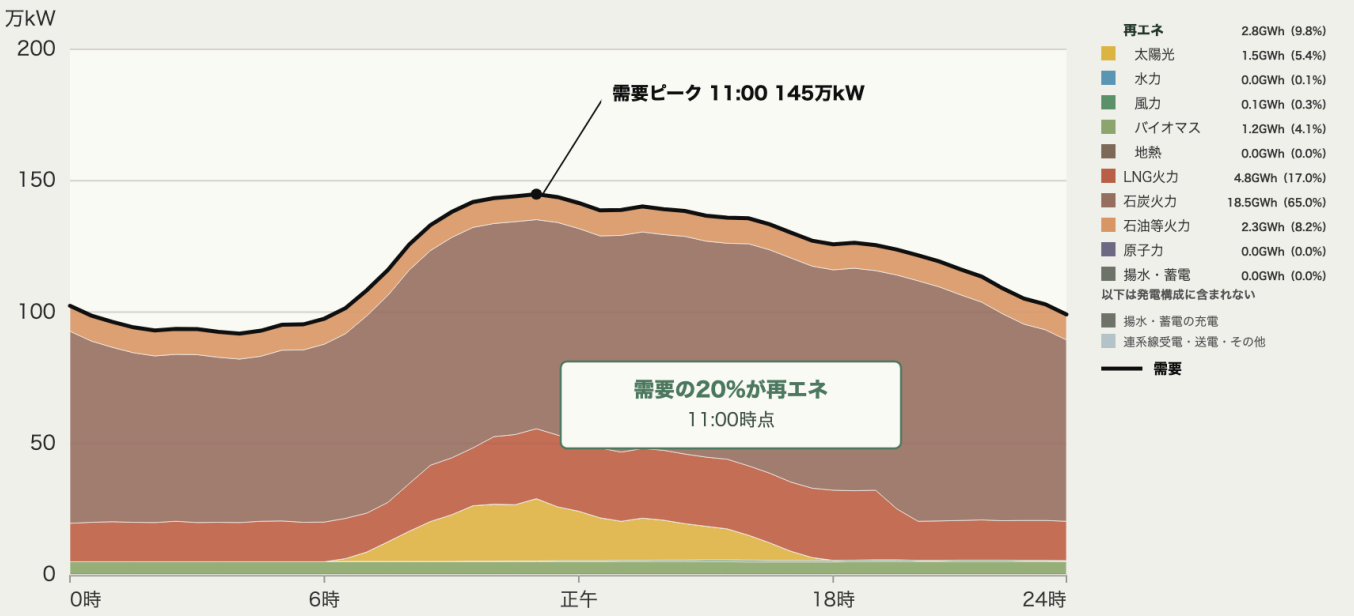
九州は、太陽光ピーク830万kW、風力ピーク26万kWで、時間別の再エネ最大需要比は91.6%だった。

2026年10月2日の供給実績

沖縄エリア

再エネ
2.8GWh
（発電電力量ベース9.8%）

沖縄エリア 2026年10月2日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
28.5GWh

需要ピーク
11:00、145万kW

連系線・その他
0.0GWh

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク24万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は20.0%だった。